

ひとり親家庭に対する学習支援事業の概要

1 背景

- ・子どもの貧困率が 16% 超、とりわけ、子どもがいるひとり親世帯に限ると貧困率は 54.6%
- ・学校教育の機会はすべての子どもたちに平等に保障されているが、学校外教育の機会は、家庭の経済状況で格差(中学生通塾率: 県ひとり親世帯 34%、中学生県全体 52%)
- ・親の経済的貧困が、子どもから学習の機会などを奪うことにつながり、このことで低学力・低学歴になってしまった子どもは、低所得の職業を余儀なくされ、貧困の世代間連鎖が生じている
- ・貧困の世代間連鎖が引き起こす教育の格差に当会としても重大な関心を寄せているところ
- ・県では、平成 26 年度からひとり親家庭学習支援事業をスタート(H26:2市、H27:4市町予定)
(H27 学習会場への送迎支援の予定、但しルート等で課題多い、指導者確保も困難な状況)
- ・三朝中、町教委としてもひとり親家庭の生徒への学習支援の推進に理解

・当会では、学習システム「すらら」を活用して自宅学習を進め、ネット(LINE 等)を利用した遠隔コーチングを行い、中学生の学力向上を支援中。通塾に伴う保護者の送迎の問題は生じない
・ひとり親家庭等への学習支援には、通塾しなくていい当会の学習指導手法が最適であると思料

2 事業内容

- ひとり親家庭の学習を支援するために、「すらら」と遠隔コーチングにより、個別学習指導を行う
 - ◆学習システム「すらら」
 - ・ネットを通じて学習、診断できる対話型次世代教育システム(H24、文科大臣賞受賞)
 - ・(株)すららネット(東京)が開発、提供
 - <特徴>
 - ①教科書に準拠したプログラムで、自分にあったレベルから振り返り学習可能
 - ②通わなくてもいいから、保護者による送迎負担なし
 - ③学習進度をリアルタイムで把握でき、離れていても見守り可能
- 利用料は、当法人がすすめる事業とは別にひとり親家庭枠を設け、低廉な価格で提供
(5,000 円/月で提供 (定員5名)、通常(中学生) 12,000 円/月)
- 一般枠の受講者を増やすことで、ひとり親家庭の受講者の負担割合を軽減し、共助サポートビジネスとして構築
 - ◆「鳥取県みんなで支え合う中山間地域づくり総合支援事業費補助金」活用
 - ・補助事業期間:平成27年7月から平成28年2月 (これ以降はビジネスとして継続予定)
 - ・事業対象地区:三朝町 (ひとり親家庭の中学生)
 - ・補助対象事業費:553千円 ・補助額:276千円 (補助率1/2)

【NPO 法人 石原教育振興会(代表:石原太一)】

- ・設立:平成27年2月6日 ・事務所:倉吉市駄経寺町 倉吉未来中心 団体事務局サロン内
- ・目的:教育力を高める活動を通じて、一人ひとりの学習者が自発的で広範な学習に取り組めるよう総合的・多面的に支援
- ・主たる事業:①オープンセミナー(無料) 教育講話等やる気アップ、志を喚起、過去6回済
②家庭学習支援=学習システム「すらら」活用、ネットによる遠隔コーチング
~通塾不要の個別学習指導推進~

■eラーニング対話型アニメーション教材「すらら」とは

【学習範囲】 中学1年生～高校3年生までの学習指導要領に準拠

【対応教科】 英語・数学・国語

【ユーザー数】 20,000名 (2012年1月末現在)

【特徴】

○Point 1 スモールステップでわかりやすいインタラクティブ授業

1つの単元は10から15分程度で、小さな階段を少しずつ上るような構成。

しかも授業は一方的ではなく、随所で先生役のキャラクターが問いかけを行い、問題に答えていくというインタラクティブスタイル。そのため、飽きることなく、適度な緊張感を持続し、楽しみながら学習を進めていくことが可能。

○Point 2 難易度調整や弱点診断ができる演習ドリル

一人ひとりの理解度に応じて出題される問題の難易度を調整する「出題難易度コントロールシステム」を搭載。「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されることで、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めることが可能に。また、何がわからないから問題が解けないのか理由を探る「弱点自動判別システム」も搭載。

○Point 3 現役の塾の先生による手厚いフォロー

いつまでどこまでの学習をするかといった「月1回の目標設定」や、つまづいているところがないか「週1回程度の電話やメールでの進捗確認」など、継続して取り組めるよう現役塾講師がフォロー。また、eラーニングだからこそ、学習内容や正答率・解く速さなども詳細に把握できるので、お子様一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導が可能。

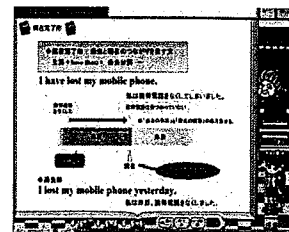
<参考>これまでのeラーニング教材の大半は以下の3パターン

1. 動画配信型：カリスマ講師のレクチャービデオを視聴するタイプ
「理解」にはすぐれているが「反復」の部分がないためやりっぱなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でないとい、集中力が続かない。
2. 問題集型：問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ
「定着」にはすぐれているが「理解」の部分がないため、学力の高い生徒でないとい一人で学習を進めることが困難な傾向がある。
3. ゲーム型：携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ
非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には不向き。

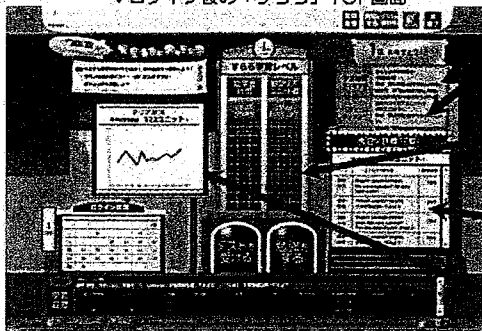
「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の"次世代型教育システム"です。

■すららの「ゲーミフィケーション的要素」

- ①他のユーザーと「総学習時間」や「クリアユニット数」で競い合う緊張感
- ②キャラクターによる対話形式で根本理解を深める本格的なレクチャー
- ③ドリルパートにて、生徒ごとにカスタマイズされた問題を解き、各ステージをクリアするという快感



▼ログイン後の「すらら」TOP画面



努力指標 (学習時間・クリアユニット数) におけるランキング

学習レベル: 「累計総学習時間」「累計総クリアユニット数」によって自分のステータスが、ランクアップする仕組み

今日の目標一覧: 自分or先生が設定した目標ユニットが表示される

クリアユニット数の推移

■株式会社すらら ネット 会社概要

- 設立: 2008年8月 ○ 資本金: 6,285万円 ○ 所在地: 東京都千代田区内神田
- 事業内容: eラーニングによる教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社 URL: <http://surala.jp/>